

THE YURAKUZA THEATRE, TOKYO.

GRAND
FAREWELL CONCERT

BY

KATHLEEN PARLOW

World's Woman Violinist Virtuoso.

Under the Auspices
of
The Yomiuri-Shimbun-Sha

on
~~Friday~~
Thursday, 17th
Saturday, 18th

AT 2.30 P.M.

TICKETS: Y. 3.20
3.00
2.50
1.00

Programme

Programme

PART I.

1. Kreutzer Sonata, (A-major) *Beethoven.*
Adagio sostenuto, Presto
Andante con variazioni,
Finale-Presto.
-

2. Concert in G-minor, op. 26 *Max Bruch.*
Introduction-Allegro Moderato
Adagio,
Finale-Allegro energico.

INTERVALE

Exhibition of Miss Parlow's Records,
Made Exclusively by Nipponophon Company.

PART II.

3.
 - a. Air (on G-string) *Bach.*
 - b. Theme and Variations *Tartini.*
 - c. Valse Sentimentale. *Schubert.*
 - d. Zapateado. *Sarasate.*
 4.
 - a. Andante Cantabile. *Tschaikowsky-Auer.*
 - b. La Ronde des Lutins. *Bazzini.*
-

At the Piano ; Mr. Theodore Flint.

終曲、アレグロ・エネルジコ、

此休憩時間を利用して

日本蓄音器商會吹込パーロウ女史レコード試奏

第二部

- 三、
(イ) アリア(G線上の)……………バツハ作曲
(ロ) コレリを主題とせる替手曲……………タルティニー作曲
(ハ) ヴァルス・センチメンタル……………シューベルト作曲
(ニ) ザバテアド……………サラサーテ作曲
四、
(イ) アンダンテ・カンタービレ……………チャイコフスキー作曲
(ロ) 妖鬼の輪舞……………バツツイニ作曲

十七日演奏曲目

バイオリン、カスリン・バーロウ女史
ピアノ、セオドル・フリント氏

第一部

一、クロイツェル・ソナタ(長い調).....ベートーベン作曲

アダージョ・ソステヌート・プレスト、

アンダンテ・コン・バリエーツイオニ、

終曲、プレスト、

二、バイオリン同伴樂(短調)作品廿六.....ブルッフ作曲

イントロダクション・アレグロ・モデラート

アダージョ、

大正十一年十一月十七日(金曜)
十八日(土曜)午後二時開場二時半開會

パロウ女史告別大演奏會曲目

入場料

金三圓廿錢
金三圓
金二圓五十錢
金一圓

會場
有樂座
主催
讀賣新聞社

Prog-627
[17 Nov 1922]



鷺印レコード

株式會社 日本蓄音器商會副總支配人 松村武重談

此二三年來音樂熱が全國に普及したのは驚くべきものがある、蓄音機に依つて具體的に表はれた處をいへば大正五年と今日とを比較すれば蓄音機の需要が十何倍に上つてゐる、音樂熱がかく普及されて居ながら大音樂家のレコードの如きは外國製のものばかりで一枚五圓も六圓もするのだから唯れでも買ふといふわけには行かないそこで今回バーロウさんの來朝を機として製作して見たのですが、非常に良い成績を挙げ兩面一枚が一圓五十錢と云ふ安さで賣る事ができ日本の音樂界に取つて多少貢獻し得るものがあると思ひます

(讀賣新聞所載)

株式會社 日本蓄音器商會